

(仮称) 海老名市文化交流拠点第 1 期施設整備事業 サウンディング型市場調査の結果について

1 調査の目的

海老名市文化会館、海老名市立中央図書館、海老名市立総合福祉会館といった公共施設が立ち並ぶエリアは、「海老名駅駅間地区地区計画（平成 21 年決定・平成 28 年変更）」において、既存文化施設と周辺環境との調和を図りつつ、文化施設等を誘導する地区と位置付けられています。本市では、この地区を文化発信の拠点エリアとするため、(仮称)海老名市文化交流拠点整備事業を進めています。

本市は「(仮称)海老名市文化交流拠点整備に向けた調査・研究及び基本構想（令和 3 年 3 月）」、「(仮称)海老名市文化交流拠点第 1 期整備指針（令和 6 年 8 月）」及び「(仮称)海老名市文化交流拠点整備事業第 1 期基本計画（令和 7 年 8 月）」を策定し、今後は、基本設計、実施設計及び施工を一括して発注する設計施工一括発注方式（以下「DB 方式」という。）にて本事業を進める予定です。

本調査は、設計又は施工会社の皆様から参加意欲や公募条件等に関するご意見を収集し、本事業の発注に向けた条件等の整理・検討の参考にすることを目的に実施したものです。

2 調査スケジュール

実施要領等の公表	令和 8 年 1 月 30 日（金）
アンケートの回答受付期限	令和 8 年 2 月 13 日（金）
対話の実施	令和 8 年 2 月 26 日（木）～3 月 11 日（水）

3 参加事業者

アンケート 回答事業者数
設計会社：11 社 施工会社：10 社

対話の実施 参加事業者数
設計会社：6 社 施工会社：7 社

4 主な意見

項目	主な意見
参画意向	・大いに興味がある：8 社 ・興味はあるが条件による：12 社 ・無回答：1 社
設計施工の契約形態について	・設計の独立性を担保できる D+B 方式を希望する。 ・施工サイドの意見を反映させやすい DB 方式を希望する。 ・コスト圧縮・スケジュール遵守が重要であるため、設計施工一体型の DB 方式が合理的と考える。責任の一元化によりリスク分散が明確となり、発注者の事業管理負担も軽減できる。 ・DB 方式・D+B 方式どちらでも問題ない。

項目	主な意見
各業務の実績及び体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の実績については問題ない。 ・ 繁忙期であるため、配置予定技術者における同種工事の実績等は緩和していただきたい。 ・ 施工が2年後となるため、配置技術者の選定が課題となっている。配置技術者を柔軟に変更できる等の条件を緩和すると参加しやすくなる。 ・ 配置技術者に工事实績、公共実績が指定されていると対応は難しい。 ・ 公共実績だけであれば対応は可能である。
本事業における期間等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細な情報がないため、現時点では適切であると判断できない。 ・ 昨今の働き方改革で施工期間が延びている事例が多い。 ・ 複合施設のため関係部署との庁内合意に時間が掛かるのではないかと。設計の合意形成期間が短いと考える。
事業費について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点では妥当である。物価スライドの協議が可能であれば問題ない。 ・ 現段階の単価は妥当な水準であるが、竣工までの物価・人件費高騰が懸念点である。
選定について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案期間につきまして、もう少しお時間を頂きたい。 ・ 公募期間 3.5 か月では短い。4.5 か月でも短い。 ・ 技術対話を行い提案の採否を確認したい。 ・ 地元企業への貢献を評価していただきたい。 ・ プロポーザル提案時に細目内訳まで提出を求めないでいただきたい。

5 調査結果の取扱い等

- ・ 本サウンディング調査で寄せられた意見等は、本事業に係る公募条件の検討等に活用します。
- ・ 具体的な提案内容については、参加企業のアイデア・ノウハウが含まれるため非公表とします。